

9. 富田の石地藏

お地藏さまは、室町時代に京都から広まったといわれ、近畿地方を中心に、北陸地方、新潟・長野市周辺で(関東や東海地方ではあまり見られないのだとか)「地域や子どもたちの守り神」「地藏菩薩」として市井の人々に信仰されてきました。

富田には多くの石地藏が分布しています。

正確な数は不明ですが現在のところ、平成20年富田自治連合健康推進リーダーが調査した結果、自治会の方々が管理している地藏尊は、16地藏尊ありますが、これ以外に個人の家で管理しておられる地藏尊も多くあり30ヶ以上在ると思われています。

富田の地藏尊は、その多くは化粧地藏です。化粧地藏とはお地藏さんをお守りする地域の人たちによって、お地藏さんのお顔にきれいに化粧を施すところからそのようによばれています。

お顔が白く塗られ、目や眉もメイクされているので、どことなく愛くるしく、表情豊かに感じられるお地藏さまは、地元の方々にとってはお馴染みですが、その風貌は全国的に珍しいようです。

また、お地藏さまによっては「出世地藏」「延命地藏」など、願掛けの名前がついているのも面白いところです。



清蓮寺の「富田子安地藏尊」は、明治2年(1872年)に神仏分離令により三輪神社より移されとのこと。

8月24日は、地藏盆と呼ばれ富田の夏の最後の大きなお祭りです。

清蓮寺の「六斎念仏」は、近郊では珍しい行事です。

境内の多くの地藏尊の前で鉦や太鼓を打ちながら皆様に念仏を唱えられ詠唱奉納され

「六斎念仏吉水流の詠唱奉納」が行なわれます。

「高槻のええとこブロボ 夏の終わりを告げる地藏盆」を参照下さい。



次の頁の地図は、お地藏さまがあった場所に赤印をつけたもの。最新情報ではありませんが、ご興味を持ってくださった方には、ぜひお地藏巡りをお楽しみいただければと思います。